

連動操作盤SAPJ006シリーズ 遮断スイッチ設定表／接点、ジャンパーピン構成図

件名：

型式：

(例: SAPJ006-B1-30L)

新規 年 月 日
更新 年 月 日
発行会社名：
部所：
管理番号：

TM10865<0>

承認	検証	担当

【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。（TM10864（特盛の場合TM10892）「連動操作盤SAPJ006 機能設定表」を参照）

【ジャンパー設定の記載方法】
(例) JPF2の設定：設定の場合



【移報接点の構成】

■受信機

- ・移報接点の標準装備はF1～F25（PSU基板）です。
- ・ROU基板（オプション、20点/枚、最大9枚まで）により、F26～F205（最大）まで追加できます。
- ・F4、5はトランスファ接点、F1～F3は独立したコモンメーク接点、F6～は5接点で1コモンメーク接点です。
- ・ステータス変動で「異常代表」または「主電源断」に信号した場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間で導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F4、F5（C接点）のC-B端子間を使用してください。

■P型インターフェイス盤

- SOU基板（20点/枚、最大9枚まで）により、S1～S180（最大）まで追加できます。S1～S180まで全て5接点で1コモンのメーク接点です。

注) ROU基板、SOU基板は盤のキャピサイズにより枚数が異なります。

【諸表示 (L X) の電源について】

- 諸表示 (LX) を受信機電源 (I±) から供給する場合、ジャンパーピン JP 1ーを設定することで、1ーと LX C の渡り配線は不要になります。

1. 遮断スイッチ設定表 (機能設定表TM10864 (特盤の場合TM10892) の2項 オプションスイッチの設定と6項、7項 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです)

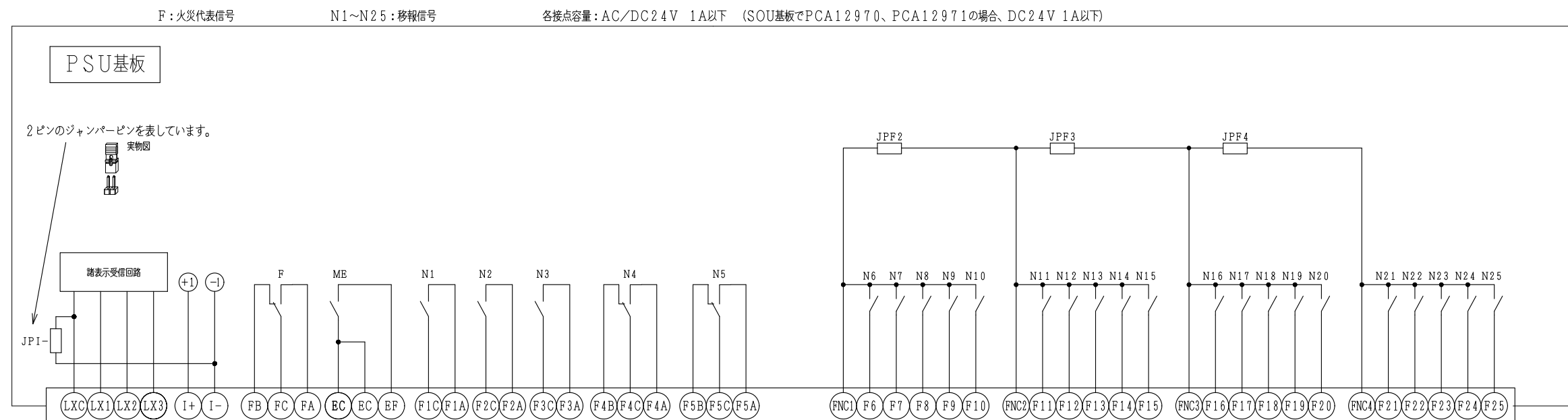
スイッチ名称 (標準)	スイッチ名称 (変更時)	遮断する接点
防排煙遮断		

スイッチ名称（標準）	用途	スイッチ名称（変更時）	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		
OP5	遮断 / ノンロック / ロック		

2 接点、ジャンパーピン構成図

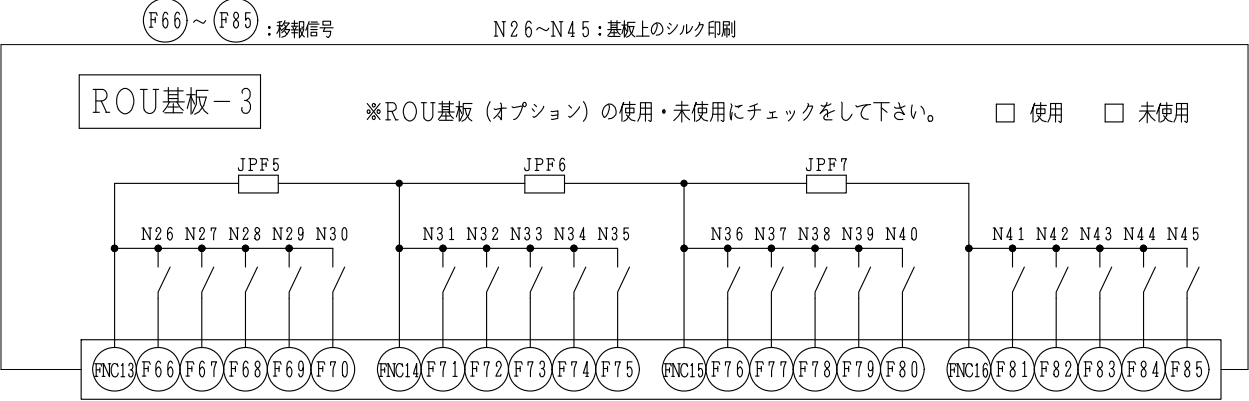
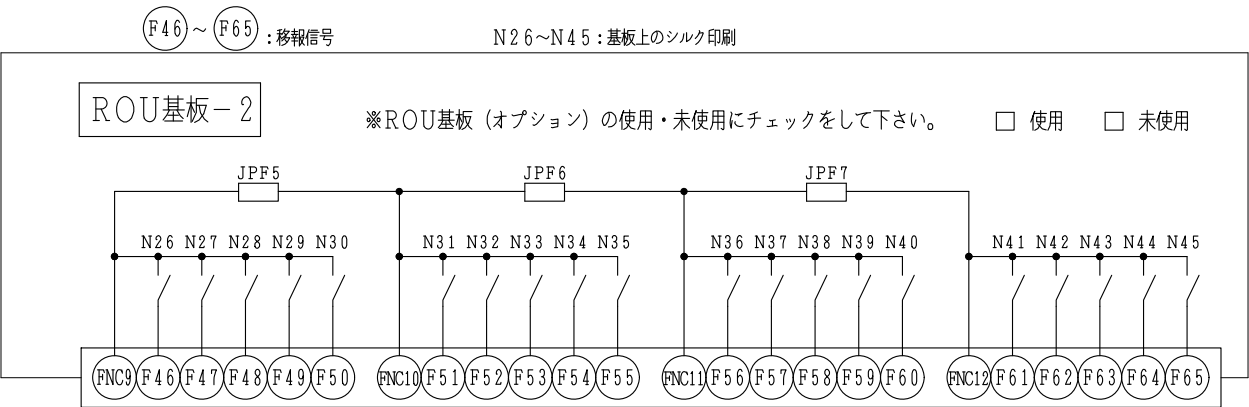
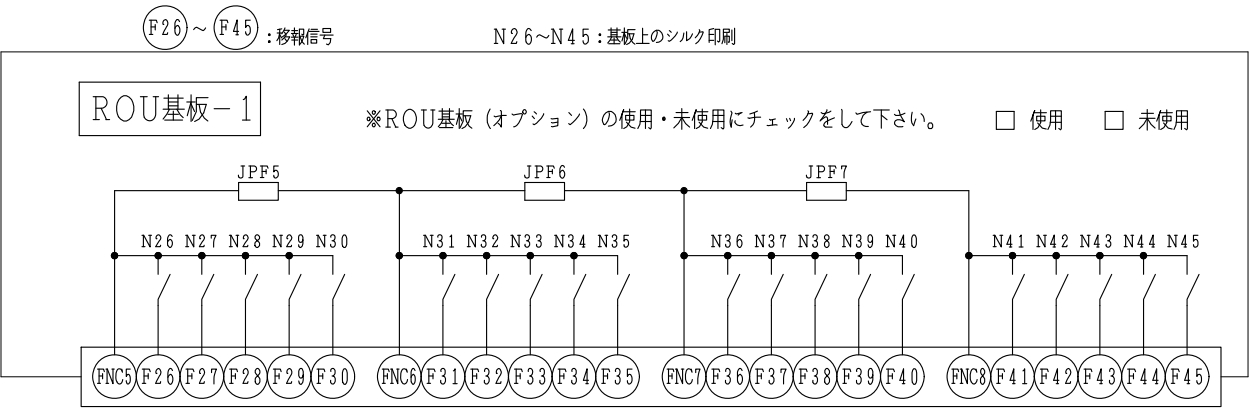
(2-1) PSU基板

- 諸表示 (LX) 電源用 : JPI-1 短絡 (受信機電源を使用する場合) ■ 基板内コモン共通化 (無電圧) : JPF 2~4 (F6~F25を使用する場合)



(2-2) ROU基板 (オプション)

- ・ J P F 5 ～ 7 を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) ROU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。



(2-3) SOU基板 (P型インターフェイス盤の手配時)

- ・ J P S 1 ～ 3 を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) SOU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。

【終端設定方法】
・ 基板番号が P C A 1 2 9 7 2 以降の場合、末端の基板には終端抵抗用のジャンパープラグ J P 1、J P 2 を取り付けてください。

